

KOBELCO

Forest

コベルコフォレストレポート

カーボン・オフセットで森づくり

— 35 —

「CO₂削減だ、やれに協力してもらえませなか」とシンプルに訴えと説明しても上手く伝えないことが多い。なで、横手の森林を守る

農林部農林整備課の武藤悟主査。横手市では、平成24年から横手市森林組合と共同でJークレジットを発行した。開始早々は上手く機能しなかったが「横手の森林を守る」と目的を明確にして再スタート。矢野悠紀主任と共に市民へPRを強化し、地域ぐるみの取り組みへ昇華させている。

横手市

地域の森林を守る

クレジット活用で意識醸成

24年度までの間伐地域を普及推進に本腰を入れて対象に6115tのクレジットを発行した。

「カーボン・オフセット」という言葉が理解され、平成29年にはクレジットを再取得するなどの軌道に乗せつつある。

「国は例えるように販売実績も伸ばし、平成29年にはクレジットを再取得するなどの軌道に乗せつつある。」



武藤主査

「すぐ売れるだろう」と安易な気持ちで進まず、購入側にとつても認知度が高くなければ購入した企業もアピーな気持ちを持てない」と武藤主査。そこで市役所自らが顧客が購入して行政の印刷物で排出されるCO₂の一部をオフセットすることから開始。農林部の封筒や第7回カーボン・オフセット大賞農林水産大臣賞に選ばれた。Jークレジット制度は林業に力を入れているが、一過性で終わらせないためには民間の力が不可欠。Jークレジット制度は林業を身近に感じてもらいたいという思いで「第5回カーボン・オフセット大賞農林水産大臣賞」を受賞した。コベルコ建機さんのような企業が増え、森林吸収系プロジェクトを発行する企業や自治体などを取材している（佐藤記者）。



作成したロゴマーク



森林整備を身近に感じさせる取り組みを行っている